

JSSだより



シンガポール日本語補習授業校
The Japanese Supplementary School, Singapore (JSS)

「学校だより」第01号 文責 熊谷
令和 3年(2021年) 4月17日

ホームページで公開 www.jss.edu.sg/

入学・進級 おめでとう！

本校に入学・進級された皆さん、そして保護者の皆様、おめでとうございます。私は校長の熊谷高弘（くまがいたかひろ）と言います。宜しくお願い致します

本年度の入学生は、小学1年生が59名、中学1年生が31名、4月編入生が18名（内4名は中1生）となっており、全校児童生徒数は349名となりました。また、担任が20名、副担任が10名、教員ボランティアが28名（内、図書室担当7名）そして、スタッフ（事務・教務等）が私を含めて7名（内、2名は兼務）です。

補習校は、1992年10月、日本人会の一室を借りて16名でスタートしました。日本語を学ばせたいという保護者の強い熱意を感じます。その後、外務省や文部省(今の文科省)から、そして、シンガポール教育省からも正式な補習校として認可されました。今ではアジアで唯一の大規模補習校となっています。

本校は、現地校や国際校で学ぶ子どもたちにとって、数少ない日本語及び日本の伝統文化を学ぶ場の一つとなっています。授業では「日本語や日本の伝統文化に関する教育」を行っていますが、年間授業日数は40日(年間120時間程度)と限られているため、家庭学習の充実に努めることも必要となります。宿題はしっかりとやっていきましょう。

補習校に通う児童生徒の皆さんは、平日、現地校や国際校等で学習した上で、補習校でも頑張ろうとしている「頑張り屋さん」です。皆さんのやる気を先生方全員が一丸となって、全力で支えていきますので、いっしょに勉強していきましょう。

日本（世界）の未来を担う子どもたちが楽しく、そして着実に力が身に付いていきますよう、学校と家庭の両輪で学習支援を行っていきましょう。

ご協力をお願いします。

そこで、学校が目指していることは、次の2点です。

1 楽しい学校、来たくなる学校を目指します。

2 「仲間を認める。ありがとうを伝える。笑顔で応える」の育成を目指します。

楽しい学校にするためには、皆さんの協力も必要です。「自分がされて嫌な事は人にしない（言わない）」ということを守ってほしいと思います。

そして、「日本語を勉強する、日本の伝統文化を体験する」という共通の目的がある皆さんは、誰もが仲間です。お互いに認め合い、助け合ってこそ、信頼が生まれ、心も育ってきます。これからは「チーム補習校」で楽しく学んでいきましょう。



令和3年度 学級編成

		1組	2組	3組	副担任
小学部	1年	阿部 恵	浅野 貴子	佐藤 舞	小笠原 文子 畑佐 舞
	2年	中尾 美貴	芦田 聖子	成相 佳林	鈴木 裕子 内田 江奈
	3年	小川 こずえ	原田 真紀子	若林 咲良	高木 真理子
	4年	武智 愛	藤野 翔		坂井 千恵美
	5年	河崎 千代美	平山 加奈子		小島 晃子
	6年	中川 寛子	徳島 聖子		木下 英夫
		1組	2組		副担任
中学部	1年	秋山 理和	西郷 恵美		平塚 眞知子
	2年	小野 素子	若山 実子		中村 浩美
	3年	大塚 多津子			

校長	熊谷 高弘
事務長	山村 薫
教務主任	齋藤 美緒
事務	アンジェラ ウン
事務(平日)	高木 真理子
事務(土曜日)	楊 秀芳 ビビ
教務	原田 真紀子



教員ボランティア	教室担当		畔上 俊昭	畔上 智恵	神農 陽子	高橋 時夫
			ヤング 靖子	渡辺 瑞恵		
本校保護者	教室担当	潮來 江身子	井谷 美誉子	大谷 天志	蔭山 直子	
		加島 宏子	木塚 沙恵子	佐々木 優子	須藤 美穂	
		田中 香	田中 かおり	寺阪 慎一郎	南雲 知也	
		服部 朋子	増田 良子	松村 依子		
		関書室担当	荒木 美陽子	岡田 彩	外松 真紀	ターナー 紗恵子
		松見 由佳	松村 由美子	山田 真梨子		

学校教育に関わるボランティアの皆様、ご協力ありがとうございます。特に、保護者の方のご協力は補習校を運営していく上で、とても助かっています。信頼される学校づくりを進めるため、保護者や地域の方々のニーズをより一層反映できるように、学校が地域と一体となって絆を深めたり、地域づくりの担い手を育成したりするための学校になれるよう、引き続きご支援、ご協力をお願いします。